

神戸市外国語大学 学術情報リポジトリ

# "V着"と「Vテイル」「Vナガラ」「Vテ」：非限界動作動詞の場合

著者	下地 早智子, 任 鷹
雑誌名	CLAVEL
号	2
ページ	49-58
発行年	2012-10-31
URL	<a href="http://id.nii.ac.jp/1085/00001245/">http://id.nii.ac.jp/1085/00001245/</a>

# “V 着”と「V テイル」「V ナガラ」「V テ」

## —非限界動作動詞の場合—

下地 早智子・任 鷹

キーワード：継続相，完成相，同時性，継起性，情報構造

### 1. はじめに

“着”は現代中国語において，通常，完成相“了”に対立する継続相のアスペクト標識であるとされる。しかしながら，武信(1978)は「伝達動詞」につく「着」には，「了」的要素がある」とし，以下の指摘をしている<sup>1</sup>。

次のような日本人学生の日訳に対し，中国人留学生から疑問が提出され，結局，傍線部分の訳に訂正をみた。

- (1) 田政委含笑说：“……，”他扬手招呼刚接完电话的梅英姿，“……。”说着，他挥动了一下粗壮有力的手臂，……

〔日本人学生訳例〕

田政治委員はほほえんで言った。「～」彼は電話を受け終えたばかりの梅英姿を手を挙げて呼んだ。「～。」と言いながら，彼はごつい力のありそうな腕をさっと振り，

〔中国人留学生添削例〕

～といいながら→そう言うと

また，(1)の指摘を継いで，中川(1979:64-65)は，さらにこれが伝達動詞だけの問題ではなく全ての継続動詞の問題であるとする。中川(1979)の記述では，光生館日中辞典の「いちどう」の項の(2)の下線部は，(3ab)のいずれかに改めるべきであるという。

- (2) 一同言いあわせたように彼をみた／大伙儿不约而同地看了他。

- (3) a. 看着他      b. 看了他一眼。

我々の語感においても，(2)の中国語訳としては“着”を用いた(3a)の方が，“了”を用いた(3b)よりもはるかに適切であると判断される。

さらに，先行研究では次のような例が指摘されている。

---

<sup>1</sup> 引用箇所に含まれる例文番号は小稿のものに改変した。

- (4) 王明说着, 不由就笑了, ……

(王明はそう言って, おもわず笑った, ……)

(讃井2000:59)

- (5) “敏”亚丹忽然用颤抖的声音在敏的耳边唤着。敏含糊地答应着。

(「敏君!」と、亜丹は突然ふるえ声で敏の耳もとで呼びかけた。敏は「うん」とあいまいな返事をした。)

(? ～は耳もとで呼びかけている。敏は～返事をしている。)

(巴金: 爱情三部曲, 讃井2000:59)<sup>2</sup>

讃井(2000)は(4)について、ネイティブの通常の解釈では「言い終わってから、笑う」であると記述しており、その解釈は妥当なものである。次の(6)は北京の自然な口語体で書かれた小説から得た用例であり、(7)は中国ではよく知られた小話から取った例である。

- (6) “讨厌。”林蓓白了已远远而去的马青一眼, 回头甜笑着。她穿了一领印着个大大“P”字的棉织圆领衫。

(王朔「玩主」『王朔自选集』华艺出版社)

「いやーね。」リンペイはすでに遠く運ばれていった馬青にツンと冷たく一瞥くれてから、くるっとふり返ってクスッと笑った。彼女は大きく「P」のアルファベットがプリントされた綿の丸首のTシャツを着ていた。(クスッと笑っていた。)

- (7) 这猴王一听, 老猴儿也说吃皮儿! 嗯, 他以为呀, 真正的答案已经找到了, 于是它向前走了一步, 说道: “对! 你们大家说得都对! 就是小马猴儿说错了。她没吃过西瓜, 硬说吃西瓜时吃瓤儿! 好, 今天叫他一个人吃瓤儿, 咱们大家吃皮儿!”说着呢, 把西瓜打开了。瓤儿都给小麻猴儿吃了, 大家呢, 是共分西瓜皮子。

猿の王様, 年寄り猿まで皮を食べると言ったのを聞くと, よし, 本当の答えはもう分かったと思い込み, そこで一歩前に出ると, 「そうだ, みんなの言うのが正しくて, アバタの子猿だけが間違っとる! やつは西瓜を食べたこともないくせに, あくまで西瓜は中身を食べるのだと言い張った。よし, 今日はやつに中身を全部くれてやる, わしらは皮を食べよう!」と言いながら西瓜を切りました。中身は全部アバタの子猿に食べさせ, みんなは, 西瓜の皮を等分しました。

(『中国語ジャーナル』2011年4月号:21)

(6)の“甜笑着”を“甜笑了”とすることはできない。また, (7)の日本語訳下線部は, 「と言って」

<sup>2</sup> 讃井(2000)は, このような例から「“V 着”は動作が「実現し一定時間持続する」ことは積極的に主張しているが, 「一定時間持続した動作がすでに終結しているか否か」については何も主張していない。終結しているかどうかは, 完全にコンテキストに依存する」(p.59)と述べている。

とすべきであり、「と言いながら」という訳は、原文の意味するところを適切に伝えるものにはならない。

小稿では、談話の中で用いられる“着”や、“V1 着( )V2”における“着”が、複数の動作の＜同時性＞を表さず、＜継起性＞を表すように解釈される場合について考察する。また、小稿では、非限界動作動詞の例のみを考察の対象とする。日本語と中国語の動詞のカテゴリーには異同があり、それはアスペクト形式の選択の違いに影響するが<sup>3</sup>、非限界動作動詞は日中双方の言語において完成相も継続相も取り得るので、そこに生じる差は、動詞のカテゴリーとは無関係に、日中両言語におけるアスペクト形式選択の本質的な違いを示すものと思われる。

## 2. 日本語と中国語のアスペクト形式選択のメカニズム

日本語では、出来事が参照時(発話時)と同時に観察される場合は、継続相を用いなくてはならない<sup>4</sup>。

- (8) [外出先で雨が降り始めた。一緒にいる人が、発話時現在に傘を携帯しているか否かを確認する場面で。]

J. 「カサを \*持ちました/持っています か？」

「\*持ちました/持っています。」<sup>5</sup>

C. a. “你带雨伞了吗?” “带了。”

b. ? “你带着雨伞吗?” “带着。”

(8J)のように、日本語ではこの場合に完成相を用いるのは適切ではない。完成相「持ちました」は、例えば、出かける際に忘れ物の有無を確認する場合などに適切になるだろう。日本語では、忘れ物の有無の確認が、「カサを持つ」動作の発話時以前の成立を確認することによって為されるからである。ところが、中国語の場合は、場面に対応するアスペクト形式の選択が日本語と相反する状況となり、(8)の場面では文末の“了”(以下、「完了相」<sup>6</sup>と称することがある)が適切であり、忘れ物を確認する場合には、継続相“着”が適切となる。(8Ca)の“了”は、カサを持っていない状態から持っている状態への変化<sup>7</sup>が完成しており、その変化結果が発話時の状況に

<sup>3</sup> 日中の動詞のカテゴリーの異同については、下地(2010)で検討した。

<sup>4</sup> 金水(2000)を参照していただきたい。

<sup>5</sup> 本稿では、文法的に不適格な場合に加えて、ある場面において当該の形式を用いることが適切でない場合にも「\*」「?」などの記号を用いる。

<sup>6</sup> 工藤 1995 の「パーフェクト」、Bybee, J. W. Perkins, and W. Pagliuca. 1994.における Anterior の意味で用いる。Li, Charles N., S.A. Thompson, and R.M. Thompson. 1982. を参照すること。

<sup>7</sup> 動詞に直接下接する“了”の意味は「変化」「実現」などのように記述されるが、いずれの呼び名であれ、

関連していることを主張するものである。また、当該の情報が新情報である点も“了”の選択には重要である。(8Ca)から、中国語においては、「カサの携帯」という静的出来事と発話時(または参照時)との＜同時性＞は頓着されず、また、変化後の結果の持続は語用論的推論に委ねられることが伺える。一方、継続相“着”は、上述のように典型的には出かける際に忘れ物の有無を確認する場合に用いられる。この場合、「カサを携帯すべし」は、対話者間では既に了解済みの旧情報である。そして、「持つ」動作とその結果「持っている」という結果状態から成る当該の出来事の時間的構成のうち、この場面で中国語話者が注視するのは「持っている」という結果状態の局面である。これと関連して、忘れ物に注意を促す表現には、“V 着”が用いられることをあわせて指摘しておく。

(9) 你别忘了带着雨伞! (傘を(持つことを)忘れないように!)

(10) 你可要想着托你办的那件事。 (应用汉语词典:1373)

(あなたに頼んだことをくれぐれも忘れないように!)

このことから、中国語において継続相“着”が選択される際、当該の動作と発話時との＜同時性＞は度外視されており、その動作の持つ時間的構成のうち、持続的的局面が特に注視<sup>8</sup>されることがより重要であることが分かる。また、その命題情報が新情報であるか、旧情報であるかという情報構造の対立が、完成相や完了相と継続相の対立に関わっている点も、日本語のアスペクト対立とは質的に異なるところである<sup>9</sup>。

### 3. ＜継起性＞を表す“着”?

#### 3.1 動作の様態を描写する成分が用いられる場合

例文(2)(6)に共通するのは、動作の様態を描写する修飾成分の重要性である。試みに、(2)から“不约而同”を削除すると、“了”を用いることも可能となる。

(11) a. 大伙儿看了他(一会儿)。<sup>10</sup> b. 大伙儿看着他。

また、(6)の下線部から“甜(甘く)”をはぶくことにも同様の効果が見られる。

---

実質的にはそれほど違いがない。以下、「状態xから状態xの境界への到達」を「変化」と称することがある。また、そのような変化が参照時に関係することを表すのが文末位置における“了”の役割であると考えられる。

<sup>8</sup> 「注視」「注視点」など「視点」に関わる用語については、下地(2011)を参照されたい。

<sup>9</sup> “你带着雨伞了吗?” “带着了。”は(8Ca)に近く、出かける時に遡って確認する意味になる。

<sup>10</sup> ここで論じている問題とは別に、“看”は継続動詞なので、限界性を加える成分(時量補語や動量補語など)を加えなければ“了”を下接し難いという事情がある。

(12) “讨厌。”林蓓白了已远远而去的马青一眼，回头笑了。她穿了一领印着个大大“P”字的棉织圆领衫。

(5)にも“用颤抖的声音”や“含糊地”など、動作の様態を描写する修飾成分が用いられている。これらの様態修飾表現は、出来事の開始の局面ではなく、持続の局面が注視されていることを示すといえる。そして、これらの修飾表現が用いられると“了”が選択できず、“着”のみが用いられるという事実は、出来事の時間的構成のうち、“着”は様態修飾表現と同様、持続部分が特に注視されていることを示す標識であることを暗示する。以下はこの裏付けとなるだろう。

荒川 1991 は(13)のような、日中の非対応の存在を指摘している。<sup>11</sup>

(13) J. 子供が泣いている。見てきなさい。

C. 小孩儿哭了。你去看看。

(荒川 1991:20)

(13C)は、子供が泣き始めた局面を話し手が特に知覚していなくても用いられる。(13C)の“了”は、(8Ca)の“了”と同様に、「子供が泣く」という変化の局面が既に完成しており(「子供が泣く」という出来事が既に開始の局面に達しており)、それが発話時の状況に関連していることを示すものである。さらに、当該の命題が新情報として扱われていることも見逃せない。これについて、(14bc)のように、動作の様態を描写する成分を加えて、注視点を出来事の開始の局面から持続の局面にシフトさせれば、“了”を用いることはできなくなり、“着”のみが適切となる。

(14) a. 小孩儿哭了。你去看看。(=(13C))

b. \*小孩儿哇哇地哭了。你去看看。(子供がワーワー泣いた。見てきなさい。)

c. 小孩儿哇哇地哭着。你去看看。(子供がワーワー泣いている。見てきなさい。)

(14b)に対応する日本語の完成相「子供がワーワー泣いた」は、別の出来事との＜継起性＞を表すような文脈では適切な表現となる。

(15) J. 夫婦は大声で怒鳴りあった。子供がワーワー泣いた。情けない夜だった。

C. 夫妻俩大声叫喊着。小孩儿哇哇地 哭 \*了/着。那是一个让人心碎的凄惨的夜晚。  
いうまでもなく、(15J)の下線部の中国語訳として“哭着”を用いることはできない。

### 3.2 動作の様態を描写する成分が用いられない場合

本節では、(1)(4)(7)のように動作の様態を描写する成分のない例について検討する。

工藤(1995)によると、日本語の継続相「テイル」には、＜同時性＞を表すタクシスの機能が

<sup>11</sup> 荒川 1991 は、このような例の存在を指摘するのみで、具体的な分析には踏み込んでいない。

あり<sup>12</sup>、一方で“着”には「随伴動作を表す」とされる用法があるため、日本人学習者にとっては、“着”が、ごく素朴に「テイル」の＜同時性＞を表す用法に相当するものとして理解されやすい。

(16) a. 我微笑着淡淡地说。(私は微笑んで(微笑みながら) 淡々と言った。)

b. 忽然，天空暗了下来，北风卷着大雪，向草原扑来。

(突然，空が暗くなり，北風が大雪を巻き上げて(巻き上げながら)，草原に向かって吹きつけて来た。)

(刘月华等 2001:393-394)

c. 走着去。(歩いて(?歩きながら) 行く。)

この用法は，“V 着”が独立文になり難い，従属度の高い形式であることに由来するものと思われる<sup>13</sup>。ここで，“V 着 V”はとりたてて二つの動作の＜同時性＞を表すために用いられるのではなく，前の動作が後の動作の状態や方式となることを表しているのみであると考えてみよう。(16)における二つの動詞句の文法的地位は異なっており，“V 着”は後の主動詞に従属する連用修飾語として機能する。我々の日中それぞれの語感では，(16)の諸例を「ナガラ」と訳すことには若干の違和感があるが，これは「ナガラ」が後の動作との＜同時性＞に特化した従属の仕方を示す形式であるためであると考えられる。

刘一之(2001)は，北京の口語資料を駆使して“着”に関する現象を広範に論じた労作であるが，小稿で取り扱う現象については次の三か所の記述が関連するようである。

(17) 前件はある人の何らかの行為を指し，後件はその行為の影響のもとで，他の人に何らかの変化が生じたり，受益が生じたことを指す。

大伙儿帮着，我才把这小厨房盖起来。(皆の援助で(?皆が助けていて)，ようやくこの小さな台所を造ることができた)

大伙儿帮着，他的气才慢慢消了。

(皆の援助で(?皆が助けていて)，彼の怒りはようやくゆっくりと収まった)

(18) “这么……，都不还……”の形式を用いると，ある種の変化が生じるはずだったが生じなかった，という意味になる。

<sup>12</sup> 「話し手が，複数の出来事を1つの事件としてまとめあげながら伝達するとすれば，その複数の出来事成立の時間的順序性を表し分けなければならない。スル(完成相)は，時間的に限界づけて把握するがゆえに＜継起性＞を表し，シテイル(継続相)は，時間的に限界づけられないで把握するがゆえに＜同時性＞を表す。だとすれば，スルーシテイルのAspect対立の本質は，時間的限界性(limitedness)に関わる点にある。」工藤(1995:35)(下線は筆者による)

<sup>13</sup> “V 着”が従属度の高い形式であることは，方梅(2000)や三宅(2005)の調査が参考になる。

这么说着，他都不改。(これほど言って (?いて) も、彼は全く改めなかった)

这么哄着，她还哭。(これほどなだめて (?いて) も、彼女はまだ泣き続けた)

(19) 说着，他转身走了。(言うと (?言いながら)，彼は踵を返して去って行った。)

この例が，彼が話している最中に踵を返して去ったことを意味するのか，話し終わってから立ち去ったことを意味するのかは分からない。

(17)の例では，前件の動作と，後件の出来事との＜同時性＞は微妙である(このため日本語では継続相や「ナガラ」が用いられない)。(18)は，前件の動作は，後件の出来事時には終わっているという解釈が自然である。(19)に関しては刘一之自身が解説する通りであろう。

さて，上述したように，日本語の継続相や「V ナガラ」は，当該の場面における複数の動作の＜同時性＞を表す<sup>14</sup>。しかしながら，中国語の“着”は，2.1 節で見たように，動作の持続する局面に注意を向ける機能があるだけで，別の動詞句に対しては文法的に従属度の高い成分となるのみで，＜同時性＞というタクシスの機能は保障されないようである。この裏付けとして次のような形式の例が挙げられる。

(20) a. 她说说着还唱起来了。

(彼女はひとしきり話していたが (?話していて/\*話しながら)，そのうちいつの間にか歌を唄いだした)

b. 孩子听着听着就睡着了，妈妈讲着讲着也睡着了。

(子供は聴いているうちに (?聴いていて/(?) 聴きながら) いつの間にか寝入ってしまった。母親も話しているうちに (?話していて/(?) 話しながら) いつの間にか眠ってしまった。)

(20a)において，「話し」ながら「歌う」ことは不可能であり，(20b)において，「聴く」動作や「話す」動作と「眠る」動作が同時に行われたものとは解釈し難い。(20)では，“V 着”の動作は，後続の動作の開始前にいつの間にか終わっていたという解釈が自然であり，前後の動作に＜同時性＞は保証されていないように思われる。

そうすると，“着”は機能的にはむしろ日本語における動詞のテ形接続形式に近いという可能性が考えられるだろう<sup>15</sup>。テ形とは，寺村(1984:61)によれば，活用形の一つで，連用形などと共に，「ムードを保留し，後の文のムードにゆだねる」「あとの文(主節)がムードを表すまで態

<sup>14</sup> この＜同時性＞は，下地(印刷中)で述べたように，複数の出来事間の＜同時性＞というよりも，参照時と出来事間の＜同時性＞を捉えている可能性が高い。

<sup>15</sup> “着”に相当する日本語の形式に「～テ」が含まれることは，平岩(1939)につとに記述があるようである。



度を保留するモード」(p.58)を表す形とされる。また、益岡(2011:2)によれば、動詞連用形が構成要素を列挙するにすぎないものであるのに対し、テ形接続は連用関係を明示するものであり、連用関係の主要な意味領域を包含するという。その一つとして、(22)のように同時的に共存する事態も排除されない。

(21) 悲しい話を聞いて、涙がこぼれ落ちた。 [継起的] (益岡 2011:3)

(22) 立っておしゃべりをした。 [同時的] (益岡 2011:3)

また、日本語動詞のテ形と中国語の“V 着”は、従属的な接続形式であるにもかかわらず、生産的に命令文を作る点でも共通している<sup>16</sup>。

(23) 聴いて！ 見て！ おぼえてて！

听着！ 看着！ 记着！

#### 4. まとめ

小稿では、中国語の継続相の形式“着”が、日本語の継続相「テイル」や接続形式「ナガラ」などのように＜同時性＞を表さない場合について検討した。

第2節では、日本語の「テイル」が参照時と出来事時の＜同時性＞を重視するのに対し、中国語の“着”は、出来事の時間的構成のうち、持続的局面が注視されていることがより重要であることを述べた。また、中国語の完成相や完了相が新情報を担う文に用いられるのに対し、継続相の形式は旧情報を担う形式に用いられることを見た。

第3節では、中国語の“着”が、日本語の＜継起性＞を表す成分に対応しているように見える諸例について検討した。

3.1 節では、動作の様態を表す修飾成分が“着”の選択を決定づけていることを見た。動作の様態を表す修飾成分は、非限界動作動詞の描く出来事の時間的構成である動作の開始の局面と均質的持続の局面のうち、後者に描写の照準が合わせられていることを示す。このとき“着”のみが用いられることは、第2節で述べたように、“着”が持続の局面への注視を示す成分であることを裏付ける。

3.2 節では、動作の様態を表す成分の用いられていない用例について検討した。その結果、“V1 着( )V2”における“着”は、二つの動作の＜同時性＞を表すために用いるものではなく、

---

<sup>16</sup> ただし、“着”が均質的な動作の持続を表すことから、“V 着！”形式の命令文になる動詞は日本語よりも制限があり、動作性の高い動詞はこの形式の命令文には用いられない。

\*说着！(言って！) \*扫着！(掃いて！)

(袁毓林 1993:55-56)

V2 の表す主たる動作の背景となる状態やその方式を表す動作を示すのみであることを述べた。このとき、V1 と V2 は<同時的>であっても<継起的>であってもよく、“着”は V1 と V2 の<同時性>を保証する形式とはなっていない。このことから、“V1 着(,)V2”における“着”は、動作の<同時性>を示す「テイル」や「ナガラ」に対応する形式であるというよりも、動詞のムードを保留して、様々な連用関係をカバーするテ形接続形式により近いものである可能性が伺える<sup>17</sup>。

## 参考文献

- 荒川清秀 1991 「中国語入門第 5 回 テンスとアスペクト」『中国語』8 月号: 17-21。
- 平岩房次郎 1939 「助動詞の研究—時について」『支那語研究』第 2 号, 28-51。
- 金水敏 2000 「時の表現」金水敏, 工藤真由美, 沼田善子 著『日本語の文法 2 時・否定と取り立て』pp.3-92, 岩波書店。
- 工藤真由美 1995 『アスペクト・テンス体系とテキスト—現代日本語の時間の表現—』ひつじ書房。
- 益岡隆志 2011 「中立形接続構文とテ形接続構文」国立国語研究所共同研究プロジェクト研究発表会, 2011 年 2 月 19 日, 口頭発表資料。
- 三宅登之 2005 「表示動態的“V 着”的实际使用情况」『言語情報学研究報告』No.7, pp.127-145.
- 中川正之 1979 「「着-le」と「了-le」」『アジア研究』創刊号, 広島大学総合科学部アジア研究講座, pp.59-67.
- 太田辰夫 1947 「北京語における“進行”と“持続”」『中国語雑誌』2 巻 2 号・3 号。(本稿は, 太田辰夫著 1995 『中国語文論集 語学篇・元雑劇篇』汲古書院 10, pp.32-43, を参照した。)
- 讃井唯允 2000 「“在等”“等着”“在等着”」『人文学報』No.311, pp.53-73.

---

<sup>17</sup> ただし、次のような例では“V 着”が主節の動詞句となっているようにも分析される。このような例の位置づけについては今後の検討課題としたい。

下面, 我们试着讨论这些问题。

(袁毓林 1993: 54)

(以下, 我々はこれらの問題の議論を試みる。(我々は試みてこれらの問題を議論する))

- 下地早智子 2010 「現代中国語における「シテイル／シテイタ」相当表現—日中のアスペクト対立に見られる視点と主観性—」『神戸外大論叢』第61巻第2号, pp.87-108.
- 下地早智子 2011 「「視点」の違いから見るアスペクト形式選択の日中差—非限界動作動詞の場合—」『日中言語研究と日本語教育』Vol.4, 23-32.
- 菅谷有子 1996 「V-テイルに対応する中国語アスペクト」『小出記念日本語教育研究会論文集』No.5, pp.163-186.
- 武信彰 1978 「現代文学作品中の「伝達動詞+着」—「着」の側面観」『中国語学』225号, pp.48-53.
- 寺村秀夫 1984 『日本語のシンタクスと意味 II』くろしお出版.
- 方梅 2000 〈从“V 着”看汉语不完全体的功能特征〉《语法教学与研究》(九), 商务印书馆: 38-55.
- 刘一之 2001 《北京话中的“着(zhe)”字新探》, 北京大学出版社.
- 袁毓林 1993 《现代汉语祈使句研究》, 北京大学出版社.
- Bybee, J, W. Perkins, and W. Pagliuca. 1994 *The Evolution of Grammar: Tense, Aspect and Modality in the Languages of the World*. Chicago: The University of Chicago Press.
- Comrie, B. 1976 *Aspect : An Introduction to the Study of Verbal Aspect and Related Problems*. Cambridge University Press.
- Li, Charles N., S.A. Thompson, and R.M. Thompson. 1982 The discourse motivation for the perfect aspect: The Mandarin particle *le*. In Paul J. Hopper, ed., (1982) *Tense and Aspect: Between Semantics and Pragmatics*. Amsterdam: John Benjamins.